

Tokyo Tobihino Rotary Club

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ 東京飛火野ロータリークラブ



RI会長
イアン H.S. ライスリー

会長テーマ

親睦と友愛を礎として、
この日野の地域社会に奉仕・貢献して行こう

2017▶18 Weekly Report vol.30-13



会長 小高 俊明



幹事 栗山 博

ロータリー：
変化をもたらす

2017年10月24日(火) 25日(水) 第1367・68回 親睦旅行「京都仏閣めぐり」 於：八坂神社鳥居内「中村樓」醍醐寺「白書院」

10月24日 最初の日程は、新選組の故郷「日野」ということから、黒川会員の配慮で、明治100年を記念して、昭和45年に開館した、京都の東山にある「霊山歴史館」見学。ここでは、黒舟、新選組など幕末から、明治維新までの歴史資料が展示されている幕末維新総合博物館です。新選組、近藤勇、土方歳三、15代将軍徳川慶喜、松平容保など幕府側の資料が数多く展示され、折しも、大政奉還150周年記念の「龍馬と西郷隆盛」展の第一期(9/27~10/29)が開催されており、龍馬や西郷の関連資料、薩長同盟、鳥羽伏見の戦いの関係資料も多く、大変見応えがありました。時間が許せば、ゆっくり見学したいスポットです。通りに出て少し下ると目の前に八坂の塔が見えた。

次は歴史館の道と隔てた高台寺。ここも黒川会員のご配慮で、ガイドを寺の内容を熟知された僧侶が務めてくださいました。高台寺は、秀吉没後、その菩提を弔うため、北政所(ねね)が

1606年(慶長11年)に開創した寺で、家康は当時の政治的配慮から、多大な財政的援助を行った。寺観は壮麗を極めたといわれた。以後度々火災に会い、残っているのは、重文の開山堂・霊屋(秀吉と北政所の座像が安置されている)、表門だけです。重文の茶室「時雨亭」「傘亭」は利休の意匠によるといわれ。伏見から移築した、趣があり、土間廊下でつながっていました。観月台は三方に唐破風をつけ屋根の下から観月するための建物。史跡・名勝の庭園は小堀遠州の作。

丸い窓のある湖月庵から見学、鬼瓦席、観月台と進む。石組みが見事で、桃山時代を代表する庭園。白砂の三重の円形模様が美しい。紅葉は部分的に色づいていたがこれからで、冷え込みが続くと紅葉も早まるのではないのでしょうか。観月台、開山堂を見て、庭園を見学、霊屋を経て、茶室「時雨亭」「傘亭」に進んだ、今、「秋の特別展」が開催されており、平日にも拘らず外人を含む拝観者が多かった。



2017年10月24日(火) 第1367回 於:八坂神社鳥居内「中村楼」

■司会 親睦委員会 黒川高徳副委員長

今日は、大変なスケジュールの中、素晴らしい旅ができました。留守の会員にも土産話を持ち帰りたいと思います。ここは八坂神社の境内でした。高台寺は北政所が大阪をみて涙した寺です。紅葉はまだ早かったが、これから冷え込むようなので楽しみです。明日は早朝、智積院の朝の勤行に参座させていただきます。その後、醍醐寺拜観です。仲田順和猥下は、東京の品川寺(ほんせんじ)の住職です。



は日が暮れない」と聞いたが、時間の許す限り楽しみましょう。と挨拶に続き、「カンパイ！」音頭に唱和して始まった宴会は、祇園の舞子さん、芸子さんが会場に入り、華やいだ雰囲気の中、旅の疲れも吹き飛び、歴史館の幕末の志士の書簡や遺品、秀吉の冥福を祈る為に建立された高台寺の歴史、名園などの話題で話が弾み、終盤舞子さんのきらびやかな舞に酔い、宴たけなわの頃、舞子さんとの遊びが始まり京の夜の楽しい宴になりました。頃合いを見て、濱田会員の中締めで幕を下ろし。二次会会場に移動、のど自慢がカラオケで熱唱。明朝のことを考え切りのよい所で散会となる。

■開会点鐘 会長 小高 俊明

■会長報告 会長 小高 俊明

皆さんご苦労様です。最初に川澄祐勝貴主様に黙祷を捧げます。今日は黒川会員の配慮にびっくりするとともに素晴らしい旅になりました。これより楽しい例会を始めます。

■幹事報告は特にありません(黒川高徳副委員長代行)

■閉会点鐘 会長 小高 俊明

●懇親会

司会の黒川会員挨拶に続き、水野会員の、生前父の話で「夜道

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1367回	26	20	3	-	3	88.46%
第1365回	26	22	2	0	2	92.3%

ニコニコBOX 本日 0円 累計559,636円
本年度目標額1,200,000円 達成率46.6%

※今週のメイクアップ 長谷川さん 谷さん 栗山さん
※先々週の後メイクアップ なし

